

アジア・アウトリーチ 2021年11月祈禱課題



今月は「サウジアラビア」を覚えてお祈りください

サウジアラビアは、中東・西アジアの国家。首都はリヤド。サウード家を国王に戴く絶対君主制国家で、アラビア語による国名のアル＝マムラカ・アル＝アラビーヤ・アッ＝スウーディーヤは「サウード家によるアラビアの王国」を意味する。世界一の原油埋蔵量を持つ国であり、石油(原油)をアメリカ合衆国をはじめ世界中に多く輸出している。

サウジアラビアの経済・政治・宗教について

サウジアラビアにおける信教の自由と人権は、おそらく世界で最も低い水準である。イスラム教以外の信仰の人々はサウジアラビアに住むことはできても、公に自分の宗教を实践することは許されていない。また、イスラム教以外の宗教的な目的のために、集まることすら許されていない。女性たちの権限は、運転、投票、仕事、および家の外の活動において制限されている。当局はキリスト教徒の駐在員を常に監視している。家庭においてさえ信仰を实践していることを見られれば、殴打、刑務所、追放、さらには処刑に直面する可能性がある。

サウジアラビアはイスラム教の発祥の地である。メッカを聖地としているイスラム教は、十数億人以上に対して強い影響力を持っており、それは今日、世界中の多くの文化にも影響を与えている。毎年、石油によって数十億ドルが世界中のイスラム教徒たちの活動やその宗教の推進のために用いられている。

サウジアラビアのその他の情報

面積:2,240,000 km² (日本の約 5.9 倍) 人口:35,340,680(日本の約 28% 2020 年時点)



首都「リヤド」



普通の町の様子



イスラム教の聖地メッカのカアバ神殿

宗教:

イスラム教	92.41%
キリスト教	5.43%
ヒンズー教	0.78%
無宗教	0.66%
仏教	0.42%
その他	0.30%

「すべての肉なる者よ。主の前で静まれ。主が立ち上がって、その聖なる住まいから来られるからだ。」 ゼカリヤ書 2 章 13 節

祈禱課題

イスラム教の誕生地であり聖地であるサウジアラビアを覚えて

イスラム教はメッカを中心として世界中の十数億人のイスラム教徒を支配し、多くの文化に影響を与えている。主イエスがこの宗教の中心地を揺るがし、ご自身の主権を現してください。サウジアラビアにおいてイエス・キリストが栄光を現してくださいのであれば、世界中のイスラムは変わることができ、それに支配されている者たちは自由になることができるだろう。

イスラムの信仰を支配しているメッカを覚えて

すべてのイスラム教派メッカに向かって一日 5 回の祈りをささげなければならない。年間、約 200 万人もの人々がメッカに巡礼の旅をしている。これが多くのイスラム教徒の信仰の形をつくっている。暗闇がその心をおおっているの、真の神を知らずに神を求めて旅をしている。一人でも多くのイスラム教徒が神を求めていく中で生きておられるイエス・キリストに出会うことができるように。巡礼の旅をしている人々の中には、夢や幻の中でイエスに出会ったものも多くなる。

迫害を経験する覚悟でキリスト教に回心するサウジ人たちを覚えて

サウジ人がキリスト教に回心したことが見つければ死刑になる。キリスト教徒の公開処刑も行われていることが報告されている。このような危険にも関わらず、密かにイエスを信じて救われる人の数は増え続けている。キリスト信者たちが忍耐をもって信仰の歩みを全うし、増え続けることができるように祈らなければならない。サウジ人たちがキリスト教を信じる奇跡的な自由が起こるように。イエスを信じて集まっている人々が安全に交わりを保ち、神のみことばによって養われることができるように。また、信じている者たちが、同じ信仰をもった伴侶を得ることができるように。